

介護職の医療的行為
ストマケア

介護職の医療的行為ーストマケア

問題1 誤りはどれ？

- ①ストマには，人工肛門と人工膀胱がある。
- ②介護職が実施できるストマの処置は，パウチを交換することである。
- ③ワンピースタイプのパウチの排泄物の処理方法は，パウチ内が満杯になるまでそのままにしておく方がよい。
- ④ツーピースタイプのパウチの排泄物の処理方法は，フレンジは外さずパウチのみを外して，排泄物を捨てる。

MEMO

介護職の医療的行為ーストマケア

問題2 誤りはどれ？

- ①便や尿の性状も観察することが大切である。
- ②大腸ストマからは、水様便が排泄される。
- ③小腸ストマからは、軟便から固形便が排泄される。
- ④人工膀胱からは、尿が排泄される。

MEMO

介護職の医療的行為ーストマケア

問題3 誤りはどれ？

- ①人工肛門は、大腸がん、大腸や小腸の疾患により、腹壁に造設された腸より便を排泄するものである。
- ②人工肛門であっても、意識して排便を我慢することはできる。
- ③パウチの中に大量の出血が認められる場合は、速やかに受診する。
- ④人工肛門の場合、厳しい食事制限はないが、下痢をしないように食事を注意したり、においがあまりしないような食品を意識することも重要である。

MEMO

介護職の医療行為ーストマケア

問題4 誤りはどれ？

- ①パウチは、排泄物が液体であればあるほど漏れやすいので、下痢をしないような食品選びが大切である。
- ②下痢便が多いと、パウチの漏れが多くなり、ストマ周辺の皮膚障害が増える。
- ③皮膚のしわがある場所や凸凹がある皮膚のように、ストマの造設場所が悪いと漏れが多くなり、皮膚障害も多くなる。
- ④パウチの漏れが多い場合には、看護師と相談して、漏れの無いストマケアを検討する。

MEMO

介護職の医療的ケア-ストマケア

問題5 事例問題

大腸ストマの方で下痢やおいを気にしている場合には、食べ物を工夫することで下痢やおいを予防することができる。

どのような方法が考えられるか？

MEMO
